



長年の功績を称えて 香美市市民賞

11月3日、第13回香美市市民賞表彰式が香美市役所で開催されました。

同賞は、産業・教育・文化・政治・福祉などの分野で活躍、貢献のあった方を表彰するものです。

今年は、2名の方が受賞され、式典では、法光院市長のあいさつや来賓の依光県議会議員からのお祝いの言葉の後、表彰状と記念品が授与されました。受賞されたお二人の、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



▲高橋啓彰さん(右)



▲岡部克己さん(中央)

高橋啓彰さん(香北町美良布) 71歳

高橋啓彰さんは、昭和50年に高橋歯科医院を開業して以来、長きにわたり歯科医師として、深い見識のもと地域医療の発展に尽力されました。また、学校歯科医として、保健衛生の向上にも大きく貢献されました。

岡部克己さん(土佐山田町西本町) 79歳

岡部克己さんは、平成12年まで土佐山田町消防署に勤務され、退職後は地域の防災会会長を務められるなど、地域消防・防災の発展に貢献されました。また、少年野球のコーチややまびこ会の活動を通して地域教育の推進にも尽力されました。

ナイターペタンクリーグ

10月7日から10月28日にかけて、香北総合型競技施設で、第14回香美市ナイターペタンクリーグが開催されました。

今年は6チームが参加、試合はトリプルス(3人一組)で行われ、昨年に引き続き優勝した楽虎会は4年連続優勝を果たしました。



香美市防災士連絡会設立

10月13日、香美市防災士連絡会設立総会が開催され、68名の防災士の賛同を得て、香美市防災士連絡会が設立されました。

この会は、防災・減災対策の担い手となる防災士が互いに連携を強化し、個々のスキルアップや、地域および関係機関との繋がりを深めることで、災害に強いまちづくりに貢献することを目的としています。

総会終了後は、記念講演として高知県内で防災士として広く活躍されている北村俊幸氏より、ご自身の経験を踏まえて、避難所の運営・自主防災組織との関わりをテーマにお話いただき、防災士が地域で担う役割を再確認しました。

今後は、勉強会などを通じて、本会の目的を達成するための各種事業を展開していきます。

- 優勝 楽虎会
- 準優勝 物部クラブ
- 3位 土佐山田



▲優勝チームの楽虎会(左から大和啓志さん・岡村彰夫さん・貞岡絹子さん)



香美市文芸

◆一般投稿作品◆

岡崎桜雲 選

こぼれ萩万葉人の置き手紙
十六夜の道を譲れば夫婦鹿
心して握るハンドル紅葉坂
被災地を胸に蛇口を半分に
身も時もつきぬけてゆく蟬時雨
秋風よ掃除日和のこちよき
ひとせを紡ぎ薄着の古暦
溝そばをくぐり来る水美しく
列車音眼裏拡ぐるオクラの黄
ふつふつと汗の出覚ゆ猛暑風呂
秋晴れや九十二歳の友の文
ひまわりに見られて行くやデイの道
横殴る師走の朝日刺す車窓
はや熟し店に並ぶやいられ柿
湖水祭デイスコの木霊秋を呼ぶ

◆美良布俳句会◆

天高しアンパンマン像過疎を守る
秋の蚊の草を引く手に留まり居し
代替りすれば疎遠に秋暮るる
崩御無き即位の礼や菊薫る
彼岸花こはひとり通るみち
蟻螂の鎌を収めて壁下り来

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 山崎 貴子 | 山崎 雅也 | 中村 紫乃 | 東 月 | 吉川 恵 | 秋 星 | 岡本 初美 | 大場比奈子 | 秋山 英身 | 山崎 貴子 |
| 森田 忠男 | 小原 子川 | 原 茂 | 山崎 寿美 | 荒木 景子 | 島中 千江 | 前田 裕子 | 前田 裕子 | 山崎 雅也 | 中村 紫乃 |
| 北村 卓雄 | 北村 幸子 | 甲藤 卓雄 | 北村 幸子 | 明石ゆき糸 | 岡本かほる | 小野川 順子 | 北村 里子 | 森田 忠男 | 小原 子川 |

窓拭やガラスのむかふ金木犀
渡御戻り社殿で宴秋祭
畑中の一筋の煙天高く
いつのまに組む後手や柿熟るる

◆かがみ野俳句会◆

新涼や厨に響く電子音
さわやかに百歳の声受話器より
鎌一本夕日に残る残暑かな
かなかなや鳥居に寄りて歌碑の立つ
膝抱きて月に濡れるる独り言

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 前田 芳子 | 中内ゆかり | 高田 米子 | 竹内 ろ草 | 古川 信子 | 利根 弘子 | 山崎 鈴子 | 坂元 道子 | 佐竹 洋子 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

◆かほく俳句会◆

秋刀魚焼くだけとなりたる古七輪
秋ゆやけ歳月友を減らしゆく
山里に実る洪柿やぶの中
藁塚なくて峡の一角とのはず
途切れてはまた十月の法師蟬
時化去りて兄の法事の穏やかに
長き夜を照す関電汚職の灯
まなうらに浮かぶ面影カナン燃ゆ
新米を買ふ新米の重さあり
猪のぬた場と化しぬ刈田かな
茶の花の咲く大安の日とおもふ
手鋏持ち畑打つ腕に秋の風
湧水に秋のひかりの生まれつく
秋深し歳時記といふ小宇宙
蝶を寄せ人寄せてる藤袴
破芭蕉わが身ひきさく定めとも

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 乾 真紀子 | 池内世理子 | 奥宮かなえ | 黒岩千英子 | 久保内鏡子 | 小松 隆之 | 小松 昇 | 杉山 春萌 | 野村 里史 | 津田吾燈人 | 前田 欣一 | 前田 智 | 間崎 和代 | 宮崎ただし | 宗石 愛喜 | 森本 之子 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-18501(住所記載不要) FAX 53・5958

今月のキラリ

広報委員会

いただきし里芋の香の母の味
子どもの頃はよく里芋を食べた。あまり好みではなかったが、母がいろいろ工夫をしておいしく食べさせてくれた。今日は頂いた里芋で、久しぶりの母の味を囲んでの夕食である。

秋祭燈明台は膳ケ石
ためらはず百均の杖ついて秋
一両列車が芒の原を抜けてゆく
いびつにも寄り添う形かりんの実
子の帽子見えかくれする芒原
妻を愚かと叱る愚かさ日草

おしやれして敬老席に背を伸ばす
慎ましき夕餉に添へる虫の声
獣たる生生しさよ鹿の声

◆土佐山田町俳句会◆

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 明石 蕪生 | 大畠 新草 | 前田美智子 | 西内 道彦 | 笹岡 英世 | 榎谷 雅道 | 山中 節子 | 山中 明石 | 山崎かずみ |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|